

回 覧

地域の皆様へ

十四山東部小学校 閉校イベント準備会（仮称）
世話人代表 令和 7 年度 PTA 会長 鈴木裕一

第 2 回 十四山東部小学校 閉校イベント準備会 開催のご案内

先般よりご案内のとおり、十四山東部小学校はよつば小学校開校に伴い、あと二年で閉校を迎える予定です。長年にわたり地域の中で親しまれてきた学校の節目にあたり、学校・保護者・地域がともに閉校に向けた思いを共有し、閉校イベントについて考えるため、準備会を開催しております。

先日開催した第 1 回説明会では、学校への感謝、地域のつながり、子どもたちへの思い、歴史の継承など、さまざまなご意見やアイデアが寄せられました。第 2 回ではそれらをふまえ、前回ご参加いただいた方はもちろん、初めての方にも加わっていただきながら、閉校イベントの内容をさらに膨らませていく場にしたいと考えております。

「まずは話を聞いてみたい」「どんなことを考えているのか知りたい」という方も歓迎です。地域の皆様、卒業生、保護者、学校関係者など、本校に思いのある方であればどなたでもご参加いただけます。

記

日時 令和 8 年 8 月 8 日（土）午後 6 時 00 分～午後 8 時 00 分頃
（受付：午後 5 時 40 分～）

会場 TKE スポーツセンター
（第 2 アリーナを予定。参加人数により会議室へ変更となる場合があります）

内容（予定）

- ・ 第一回説明会の振り返り
- ・ 前回出されたアイデアや意見の共有
- ・ 閉校イベントの内容をさらに膨らませるための意見交換
- ・ 今後の進め方の確認

尚、会場準備のため、参加を予定、または検討されている方は、下記 QR コードより事前登録にご協力をお願いいたします。現時点での予定で差し支えありません。

参加事前登録フォームはコチラ →

前回参加されていない方も歓迎です。多くの方の参加をお待ちしております。



<本件へのお問い合わせ先>

十四山東部小学校閉校イベント準備会（仮称）

世話人代表 令和 7 年度 PTA 会長 鈴木裕一（神戸） 電話 080-6963-5175

第 1 回 十四山東部小学校閉校イベント準備説明会 議事録

会議名	十四山東部小学校 閉校イベント準備説明会（第 1 回）
日時	2026 年 5 月 30 日（土）18:00～19:31 頃
会場	十四山東部小学校 公民館（体育館）
主催	十四山東部小学校閉校イベント準備会（仮称）
出席	地域住民、卒業生、保護者、学校関係者、弥富市教育委員会関係者、市議会議員、世話人ほか
配布資料	①説明会スライド資料 ②参加者アンケート

1. 会議の目的

十四山東部小学校の閉校に向け、地域主体の閉校イベント準備を開始するにあたり、趣旨・意義、前提条件、進め方、全体スケジュール、組織イメージを共有し、参加者相互の意見交換を通じて今後の実行委員会立ち上げにつなげることを目的として開催した。

2. 議事次第

- ・開会、来賓・学校関係者あいさつ
- ・世話人代表による説明（目的、前提、意義、先行事例、スケジュール、組織、関わり方）
- ・グループ意見交換
- ・全体共有
- ・今後の確認（次回日程、アンケート回収等）

3. 議事概要

（1）開会・あいさつ

学校側から、十四山東部小学校はよつば小学校開校に伴い約 2 年後に閉校を迎える予定であり、学校の歴史は地域とともに築かれてきたものであること、閉校イベントを地域主体で考え準備していくことに大きな意義があることが述べられた。

来賓からは、学校再編は全国的な課題であり、閉校という節目を地域の力で良い形にまとめ、次の世代へつないでいくことが大切であるとの趣旨のあいさつがあった。

教育委員会からは、教育委員会主催の閉校式とは別に、地域の思いを形にする閉校イベントを各校ごとに実施する意義があること、学校・教育委員会として可能な範囲で支援していく考えが示された。

(2) 世話人代表による説明

- ・本説明会は、企画や役職をその場で決定する場ではなく、今後に向けた土台づくりの場として位置づけることが共有された。
- ・今回の再編は、十四山東部小・十四山西部小・大藤小・栄南小の4校統合によるものであり、各校とも閉校イベント開催を予定しているため、内容面では一定のバランス配慮が必要であることが確認された。
- ・その一方で、それぞれの学校には異なる歩みや地域性があるため、十四山東部小学校としての特色や記憶を大切に『本校らしい区切り方』を考えていく方針が示された。
- ・閉校イベントの意義として、①学校への感謝と新たな一歩、②地域コミュニティの絆の再認識と未来へのつながり、③在校生の未来への希望と後押し、④歴史の継承と未来への記録、の4点が整理された。
- ・二年前の十四山中学校の閉校イベントは有効な先行事例として参考にしつつも、今回は小学校・4校統合という条件が異なるため、前回の中心メンバーへの再依存を前提とせず、新たな体制を整えていく考えが示された。
- ・全体スケジュールとして、2026年は説明会継続・実行委員会組織化・構想整理、2027年は本格準備（協力関係構築、広報、設営準備等）とし、開催時期は11月頃をたたき台とする方針が共有された。
- ・実行委員会の組織イメージとして、執行部、運営スタッフ・実行委員、サポート・協力者、一般参加者という段階的な関わり方が示され、関与の深さは柔軟に設定する考えが示された。
- ・参加の仕方は、会議参加、意見出し、関係者紹介、写真・資料提供、当日運営支援、企画の一部関与、イベント参加など多様でよいことが説明された。

(3) グループ意見交換・全体共有

各テーブルで意見交換を行った後、全体共有が行われた。主な意見・アイデアは以下のとおり。

項目	主な意見・アイデア
歴史・記録	古い写真、学校資料、当時の実物等を集めた展示を行い、世代ごとの差異や学校の変遷がわかる場を設けたい。
感謝の可視化	来場者が学校へのメッセージを書き込み、それを大きな『感謝』等の文字や作品として可視化する取組が考えられる。

過去行事・文化の再現	昔の学校行事や地域行事・盆踊りや運動会（字別リレー等）、世代ごとの思い出につながる企画を復活・再現できないか。
地域行事との連動	各字の祭礼・神楽など、地域に根ざした行事と連動させることで、学校と地域の関係性を表現できるのではないか。
通学文化の記録	通学ヘルメットなど、十四山東部小らしい日常風景を象徴するものをアート展示やモニュメント的に活用できるのではないか。
給食・世代交流	三世代給食など、世代を超えて学校生活を共有できる企画ができるとよいのではないか。
校歌・音楽	校歌に関わる企画、関係者を招いた歌唱、参加者全員での校歌斉唱など、音楽を軸にした締めくくりの提案があった。
感謝招待	読み聞かせボランティア、見守り隊、消防関係者、スクールバス関係者等、日頃学校を支えてきた地域の方々に感謝を伝える機会を設けたい。
教室・校内活用	教室開放、黒板メッセージ、現児童の作品展示など、学校空間そのものを活かした見せ方の提案があった。
花のプロジェクト	秋に苗植えや種まきを行い、閉校期に花が咲くように育て、子どもたちへ引き継ぐような企画の提案があった。
飲食・出店	地元店やキッチンカー等の出店により、幅広い世代が参加しやすい雰囲気をつくる案が出た。
広い世代の参加	現在の在校生・保護者だけでなく、卒業生、過去の PTA 関係者、地域の高齢世代まで含めた多世代参加を意識すべきとの意見があった。

(4) 確認事項・今後の進め方

- ・ 本日の説明と意見交換を踏まえ、閉校イベント準備を地域主体で進めていく方向性が共有された。
- ・ 2026 年内は説明会の継続開催と実行委員会組織化、企画構想の整理を中心に進める。
- ・ 次回会合は『第 2 回準備説明会 兼 第 1 回実行委員会』として開催し、組織体制と役割分担の具体化を進める。
- ・ 参加者アンケートおよび QR コード申込を用い、参画意思や関心分野を収集し、今後の体制づくりに反映する。

- ・歴代 PTA 会長経験者等、今回未参加の関係者にも引き続き声かけを行う。

4. 決定事項・継続確認事項

- ・閉校イベントは、教育委員会主催の閉校式とは別枠の地域イベントとして準備を進める。
- ・学校・教育委員会は、地域主体の準備・運営を可能な範囲で支援する。
- ・開催時期は 2027 年 11 月頃を当面の目安とし、次回以降の会議で具体化を進める。
- ・次回会合は 2026 年 8 月 8 日（土）18:00 より、TK スポーツセンター第 2 アリーナにて開催する。

5. 今後の検討課題

- ・実行委員会の正式発足と、執行部・部会・担当役割の整理
- ・4 校間のバランスへの配慮と、十四山東部小らしい企画の具体化
- ・写真・資料・校歌等の収集方法、権利・個人情報への配慮
- ・安全管理、衛生管理、保険、会場動線、出店ルール等の整理
- ・協賛・協力依頼、広報方法、卒業生・地域住民への周知方法の検討

6. 次回会議

- ・会議名：第 2 回 十四山東部小学校閉校イベント準備説明会 兼 第 1 回実行委員会
- ・日時：2026 年 8 月 8 日（土）18:00～
- ・会場：TK スポーツセンター 第 2 アリーナ（予定）
- ・主な予定議題：実行委員会の体制・役割の整理、企画構想案の意見交換、今後の進め方の確認など

7. 備考

本議事録は、今後の準備過程で発生する課題の整理・検討の基礎資料として位置づける。今後の各会議においても同様に議事録を作成し、経緯・論点・判断の蓄積を図る。

以上

議事録作成者

十四山東部小学校閉校イベント準備会（仮称）

世話人 鈴木裕一